

会報 うでまくり

コロナ禍をしなやかに生きる

一般社団法人 福島県女性経営者プラザ

会長 安 斎 恵美子



今年に入り新型コロナウイルスが世界的に流行し始めてから、あつと、という間に9月。その影響による企業倒産と失業者の増加、そして災害級の暑さによる熱中症や毎年聞かれる「数十年に一度」の豪雨被害と、暗いニュースに心が痛みます。会員の皆様もこの状況に悪戦苦闘されている方も多いのではないのでしょうか。

私も、3月末から東京出張を自粛しスケジュールはどんどん中止、延期と、

一般社団法人

福島県女性経営者プラザ

日を追うごとに真っ白になっていきました。現在は自宅と会社の往復、そして時々リアル会議という毎日を送っています。会議・研修・セミナーのほとんどはオンライン。便利ではありますが、相手の体温が伝わりにくいのが良い事なのか悪い事なのか。移動もなく効率的で合理的に済ませたい会議や打ち合わせはオンラインでよいと思います。しかし、直接会って話をし、その空間を共有することで、その場の空気、臨場感、エネルギーを本来人間の持つ五感で感じとる、それが感動につながるのではないかと私は思います。

◆ 今年度のFJPの事業は新型コロナウイルスの影響もあり、基幹事業であ

- ◆ FJPの目的 ◆
- ① 女性経営者としての資質向上
- ② 次の女性たちのための風土づくり
- ③ 共同事業の開発
- ④ 地域・社会への貢献

る「女子学生懸賞作文事業」も中止せざるを得ない状況となりました。講演会なども控え、「会員に聞く」をメインとした事業内容になっております。

私は、諸先輩方の本音と経験を聞くことが出来る「会員に聞く」が大好きです。モチベーションの高さ、明るさとパワー、女性ならではのしなやかな感性。そして常にポジティブであり好奇心と行動力をもって、幾度とない困難を乗り越えてきた武勇伝に勇気がわきます。生き方、仕事はさまざまでも皆キラキラ(キラキラ?)と輝いていて、自分自身と自社を見つめなおす機会を幾度となく与えて頂きました。

◆ これこそが女性経営者としての「生きた勉強」ができるチャンスでもあります。会員のお話を生で聞いていただき、感動を共有し、これからの糧になること間違いなし! だと思います。

◆ 今はまだ、いろいろな意味で厳しい毎日が続きますが、私も微力ながら会

● うでまくりとは
古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのがある。天気の良い朝にバラバラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない...という意味。FJP、女の腕まくりの真価はこれから!

長として頑張つて参りますので、FJP会員の皆様、どうぞ迷える子羊(私)にお力をお貸しください。よろしくお願い致します。



7月定例会(福島市・茶寮おりおりにて) 2020.7.14

第25回定時総会

2019年度第25回定時総会は、コロナウイルス感染防止のため、全会員に書面表決書を提出いただき、書面議決にて総会を開催致しました。議案及び賛成数は左記の通りです。

【議案】

▼第1号議案——2019年度事業報告並びに収支決算報告
賛成 30名、理事会に一任 16名

▼第2号議案——2020年度事業計画並びに収支予算(案)
賛成 30名、理事会に一任 16名

▼第3号議案——2020年度役員改選(案)
賛成 30名、理事会に一任 16名

【結果】

全ての議案について、全員一致をもって可決されました事をご報告申し上げます。



7月定例会(講演会)——2020年7月14日(火) 茶寮おりおり(福島市)

『新型コロナウイルス社会に生きる(第1回講座)』

『新型コロナウイルスとリスクマネジメント』

講師 一般社団法人福島県中小企業診断協会

渡部 正彦氏

■リスクマネジメントについて

リスクマネジメントとはリスクを管理し損失等を回避又は低減すること。組織におけるリスクマネジメントの基本的な考え方は、①リスクのない会社はない②ビジネスはリスクをとって利益を獲得するプロセス③リスクを否定してはならない④リスクは小さいうちに対処する⑤許容リスクを知る 以上、5つと考えている。

また、リスクマネジメントの基本は「権限委譲」と「職務分割」の内部統制にあると言われる。社員が経営者の一挙手一答足をみているので、中小企業にとつては会社の風土(統制環境)づくりが非常に大切である。

最近の事例からうかがえるマネジメント対象リスクは、①経営者リスク(経営者不正・経営力の欠如) ②コンプライアンス上のリスク(組織・人) ③レピュテーションリスク(風評リスク) ④防

災・災害リスク⑤情報漏洩リスク⑥取引先(外注先)リスクがある。

■ウィズコロナ・アフターコロナで求められる経営戦略とは

①リスク回避を見据えた国内完結生産体制構築へのシフトやリスク対応も含めた自社(グループ)内一貫生産体制構築等、ポジティブな戦略としてのリスク分散。②消費者・労働者・社会のリスク意識の高まりへの対応として、テレワーク、ICT化、キャッシュレス社会といった人との接触を回避する新しい働き方や商品構成を変える。③不可



逆地点の見極めとスピーディーな対応等リスクを理解し経営戦略に活かすこと。④スマートシティやSDGs(持続可能な開発目標)といった産業界や行政も含めた社会改革等をデザインし組み立てる。以上4つが必要である。



リスクマネジメントの基本は…熱心に聞く会員のみなさん

講師プロフィール

1977年(株)東邦銀行入行。2006年取締役就任。2008年常務取締役就任。2012年福島大学つくしま未来支援センター客員教授就任。2012年東邦信用保証(株)代表取締役会長就任。2014年福島県よろず支援拠点チーフコーディネーター就任。2015年一般社団法人福島県中小企業診断協会代表理事会長就任。

9月定例会

2020年9月18日(金)
場所：陽日の郷あづま館(二本松市)



密を避けて理事会開催 (安斎会長挨拶)

■9月定例会は、会員23名の参加者のもと、二本松市岳温泉・陽日の郷あづま館において1泊2日で開催されました。コロナの感染予防に留意し、理事会、定例会、座談会、懇親会を実施。各委員会報告では、コロナ感染予防もあつて定例会の中止が続く中、各委員会活動によって絆が深まったという報告もあり、さらに総務委員会では伊藤江梨会員の出産という嬉しい報告がありました。懇親会では、恒例の各委員会かくし芸大会が行われ、さすがFJP！大いに盛り上がった事は言うまでもありません。

座談会 (会員スピーチ)

***会田和子**：女性の多様な働き方を提供し、女性の可能性を探求したい。

***中村須美子**：コロナ禍で厳しい影響を受けている。ヒューマンエラーをなくすべく邁進したい。

***紺野 涼**：70歳で新しいことに挑戦したい。会社は順調だが人材不足。健康や酵素についてご相談ください。

***佐藤和江**：介護施設なのでコロナ予防は重点事項。PCR検査を受けた。

***長尾千代美**：緊張感をもって小さなミスを起こさないよう注意する。70歳で社長交代を予定している。

***佐賀裕子**：コロナの中でも1対1のお稽古なので仕事は休んでいない。健康・運動についてはご相談下さい。

***織井久美子**：お店を始めて48年になるが、コロナ禍で今年のような状況は初めて。FJPの皆様に感謝。



***菅野喜久江**：取締役で経験もあるのに後継者が頼ってこないのはなぜ？

***菊池美保子**：日本原子力学会で発表する機会があつた。地元地場食材のセシウム検査を検証し安心をPRしたい。

***渡辺 薫**：諸先輩のお話はとても為になり、勉強させてもらっている。

***山田より子**：衛生管理をしつかり行っている。時代に沿った変化に対応していかなければならないと思う。

***川口友子**：昨年会社を承継した途端にコロナ騒ぎ。リモートワークと向き合い新しい道筋を模索中。

***古川文字**：コロナ禍で売上激減したので新しい事業を検討中。運動不足解消にダンスダイエットを実行中！

***長沢美起子**：おかげ様で会社の仕事は堅調。仕事柄、社員の衛生管理など難しい面もあるが何とか出来ている。

***野地千尋**：コロナの影響は、東日本大震災の時よりも悪い。店舗を構えていても人が来ない状況は厳しい。

***永峯美緒**：社長になって1年余り。毎年資格取得を目指す決めた。FJP初参加でかくし芸に挑戦。驚いた。

***古川節子**：来年初創業70年。社会の進歩に合わせて企業も改革していくのは難しい。一人一人の変わる意識が大事。

***瀬戸孝子**：コロナ禍による仕事の影響は少ないが、昨年の水害時は忙しかった。健康管理に注意していきたい。

***安斎恵美子**：東京の飲食店はコロナの影響で3月から休業。時間が出来たので、ヨガや読書を始めた。

***上石美代子**：会社敷地内にある震災時の汚泥ドラム缶10本のうち1本が膨らんできたので、可愛い声で回収業者に電話したら、すぐ持つて行った。

***澤上春江**：コロナで売り上げ激減するも仲間や社員・家族に支えられていることを実感。感謝している。

***杉原明美**：コロナ禍の中、洋服は不要とされているが、皆様の繋がりを大切にしたい。

(紙面の都合上、皆様のお話を概略としてまとめさせて頂きました。)



9月例会に引き続き、懇親会ではコロナの感染予防に気を配りながら、各委員会ともかくし芸を披露しました。これぞFJP！各委員の大胆かつステキなかくし芸に、皆さんの笑顔も満開✿

本当に楽しいひと時でした。

恒例 各委員会 かくし芸大会

お見苦しい点がございましたら、ゴメンナサイ。



総務委員会



高原列車はラ・ラ・ラララ 行くよ〜♪



モスリ〜っ！



40年前の洋服だって、着れますことよ〜



事業委員会

華麗な衣装で登場!!
リズムに乗って踊ります
華やかさ No.1



ジャンケン大会

毎年恒例のジャンケン大会は、安斎会長・上石直前会長から頂いた賞金を巡り白熱した戦いが繰り広げられました！賞金は、中村、山田会員がGET！



交流・広報委員会

アロハ〜
フラガールの中に、アレ？
変なおじさんが...

新会員ご紹介

株式会社 川口タンス
代表取締役 川口友子さん
(総務委員会)



かねてより、福島県に女性経営者プラザ(FJP)があることをお聞きしており、ぜひ入会させて頂きたいと思っていました。祖母に話をしたところ、上石美代子前会長と知り合いということで、直々にご紹介を頂きました。

我社は郡山を拠点に海外からの家具やブラインドなどインテリア商材を直輸入し、全国向けに卸・小売販売をしております。会津出身で職人であった祖父の代から自製販売会社として郡山に根を下ろし、2代目として父が家業を継ぎ、時代とともに業態を変えながら今まで支えてくださった皆様のおかげで創業67年目を迎えることができました。私は3代目として昨年11月に父より事業継承を受けたばかりで、まだまだ未熟で至らない点が多くありますが、覚悟を決めて精進していく所存です。企業寿命が30年未満といわれる中で会社を維持・存続していくというのは並

大抵なことではなく、計り知れない重責を感じております。

等身大での言葉しか思いつきませんが、すべての環境は、当たり前ではなく、今までやってきたことが今に繋がっているものだとして、未来を見据えなければならぬと思っています。

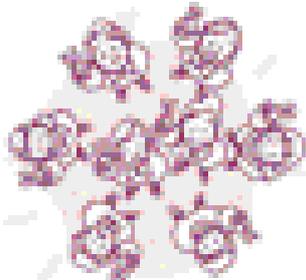
FJPの諸先輩方のご指導とご鞭撻を仰ぎながら、おかげさまという感謝の念を常に忘れずに、自身の精一杯を一生懸命に頑張ります。

これからの時代と共に存続、そして時代に求められるような企業へ発展していけるように一歩ずつ前へ進んでいきたいと思っております。

新入会員募集中!!

FJPは、会って 語って 学んで
ホットな交流のひろばです

トライ&チャレンジ
精神の豊かな仲間
たちが、あなたをお
待ちしています。



■問合せ先
☎ 024-961-8822
<http://fjp-net.com>

●ふくしまの自慢⑩

会津木綿

私は、会津木綿が大好きです。400年の歴史を持つ会津木綿ですが、後継者不足で廃業が相次ぎ、会津若松市内では織元が2社だけになりました。ところが、この会津木綿が非常に面白い!

木綿というど野良着のイメージが強く、何となく地味なイメージでしたが(織機が古く、交換部品が無いため、もう織ることが出来ない柄もあります)、昔からチェック柄や昔懐かしい三越の包装紙のようなカラフルな柄など、実はとてもハイカラだったので。



この夏は(当社も漏れなく作っていますが)会津木綿のマスクが流行り、無地の木綿も多く見受けられました。頑なな職人気質が伝統を守りながらも変化するニーズにも対応しようとしている。そんなフレキシブルさが会津木綿をただの布で終わらせない可能性を持った素材へと進化させているのです。端切れ1枚をとっても「ここから何がクリエイトできるだろう!」そんなワクワクする会津木綿が、私の「ふくしまの自慢」です。



鈴木 由利佳



会津木綿シリーズの文具

紙とプリントにこだわり、会津木綿独特の立体感や手触りを再現してある。



400年の伝統をもつ会津木綿は、素朴ながらも美しい縞柄が特徴の民芸織物です。江戸時代には、藩士妻女の内職としても盛んに行われ、家々でハタオリの音が聞こえていたそうです。厚手で丈夫、さらに肌合いが良く、保温性、吸汗性に優れ、寒暖の差が激しい会津では人々の生活に欠かせないものになりました。

会津木綿の伝統を今も守り続けているのが「山田木綿織元」「はらっば 原山織物工場」の2軒の織元です。伝統を守りつつ、そこへファッションとしての新しさも加えていく。織元の歴史は、会津木綿の歴史でもあるのです。

時代の変化に合わせ、色や形を変えながら、会津木綿の美しさは今も会津で息づいています。(資料提供: 株式会社第一印刷・福島市)

●読書感想文

命のバトン
風に立つライオン

さだまさし著
菅野喜久江



幻冬舎文庫

さだまさしが唄うこの歌を聞いたのは20年ほど前であった。仕事に忙殺されて心が疲れ切っている時、いつかはこの歌の舞台アフリカの大地へ行つてみたいと夢見ながら聞いていた、そのころ我が同輩三田公美子女史がカラオケで必ずと言ってよいほど歌つてもいた、これが又彼女が主人公でもあるかのようにしみじみと語りかけるように歌い実に上手いのだ、決して美しいとは言えないかすれた声で。
メロディの中での語りは
「突然の手紙には驚いたけど嬉しかったり何より君が僕を恨んでいなかったというところが、これからここで過ごす僕の毎日の大切なよりどころになります」と、語りかけるのである。
この歌も本もご存じない方にあらずじ

をまとめることだ。

実在する主人公、柴田紘一郎医師が1970年代アフリカに派遣され20数年間続く治安悪化真つただ中の南スーダンで長引く内戦の為あらゆる感染症や子供に地雷を踏ませる非人道的な行為や傷ついた兵士の治療の他、現地の医師の指導等ラフでフレンドリーな性格の柴田医師は多くの命を助け、現地の人々に愛され続けたドキュメンタリーである。先の語りは柴田医師がアフリカに渡る前、深く愛した女性と別れナイロビの秘境へ赴き、過酷な大自然のふところに佇む小さな診療所で多くの人々の命を救う道を選んで暮らしていた。そこに、ある日別れた彼女から届いた手紙への返事である。
返事の続きを紹介しよう

「診療所に集まる人々は病気だけれど、少なくとも心は僕より健康なのですよ、辛いと言えはうそになるけど、僕は来てよかった、あなたや日本を捨てたわけではなく僕は今を生きる事に思いあがりたくないのです、月キリマンジャロの白い雪、それを支える紺碧の空！僕は風に向かつて立つライオンでありたい」

かつて柴田医師が命をかけて守ったナイロビの青年は地雷を踏む役の少年兵であったが、柴田医師に憧れ医師となり現地は勿論のこと2011年東日本大震災後に

は石巻で大活躍、福島へも応援に来た。この時、津波で家族全員が流されショックの余り失語症となった石巻の少年も黒い肌のアフリカ人医師に憧れ医師の道を志



矢部祥子

私たち夫婦はお酒が大好きで良く近くの寿司店・居酒屋等に出かけておりましたが、最近では……。

夫：今日の宴会は何時ですか？

私：お風呂に入ってから18時50分からです。

18時50分

夫か私：乾杯の音頭をお願いします。

夫か私：ご指名に預かりまして（その日にあった楽しかった事、嬉しかった事など）挨拶します。

「カンパ〜イ」

二人の宴会の始まりです。

している。
『自分の出来る事をほんの少しだけ背伸びしてやる』柴田医師の言葉に私は大きなエネルギーをもらった。

以前よりこんな晩御飯はやつておりませんが、外飲が出来なくなつた今では、リビング・お座敷・お庭と、ますますヒートアップして「バカッブル化」しております。
外食ができなくなつた今、家の中でこんな時間を楽しんでいます。
そこで、昨夜の一品をご紹介します。

■らっきょうと豚肉の炒め物

- ① フライパンにごま油をひき、豚肩ロース肉に塩コショウして炒める。
- ② 豚肉に火が通つたら、赤パプリカ・ピーマン・らっきょうのみじん切りを加えて炒める。
- ③ みりん・オイスターソースを全体に絡める。

皆様も是非、お試し下さい。



寄稿 「エール」時代の福島

伊東 英子



古関裕而記念館 (福島市入江町)

この春、福島市出身の古関裕而夫妻をモデルとしたNHK連続テレビ小説「エール」が放映され、話題をさらっています。誰もが愛する古関メロディは、その数5000曲以上。親しみやすく独自のな旋律が多くの人々の心をとらえました。昭和39年に開催された東京オリ



古関裕而記念館

▼古関裕而が作曲していた部屋が再現されている。

▲2階展示室には、古関メロディーの視聴コーナーや、貴重な自筆譜・レコードなどが展示されている。

写真：公益財団法人福島振興公社ホームページより



ンピックのマーチは、発表後にこの曲の作曲家は誰かと、世界各地からオリンピック組織委員会に問い合わせが殺到したそうです。ドラマ前半、若き古関夫妻の強く明るい絆と共に、印象に残るのは当時の福島の社会背景です。江戸時代から福島市を含めた「信達蚕糸業地帯」は、質の高い蚕種を生み出し、東京・福島間の鉄道開業を皮切りに、福島の問屋から生糸や絹織物が海外に輸出されていました。東北で最初に、日本銀行が福島にできたのも、その繁栄を受けての事です。

古関氏を含めた福島三羽ガラスの活躍やコロンビアレコードに多くの福島出身者が在籍したのもそういった豊かさが背景にあったのかもしれない。輸出のみならず、生糸や絹織物を求めて海外から多くのバイヤー達が福島を訪れるようになり、必要になったのが洋食レストランです。私事になりますが、当時、新橋駅の私設待合所にあつた洋食レストランが、分家して福島駅の私設待合所に洋食部・弁当部・氷菓（アイスクリーム）部を開いたと伝え聞いております。これが当社の前進だそうですが、和紙に書かれたそのころの記録や道具類からその事実は推測できても、当時の空気感がわからなかったため、ピンと来なかったというのが正直なところでした。今回ドラマを通して、当時の福島に触れることができたことで実感が湧きました。ドラマ画面だけではなく、時代考証も見事な「エール」。いよいよ後半再開で今後も福島を励ましてくれることでしよう。

福島市 古関裕而記念館
 〒960-8117 福島市入江町 1-1
 TEL.024-531-3012
 FAX.024-563-5578
 開館時間 9:00～16:30 (入館は16時まで)
 休館日 年末年始 (12/29～1/3)
 ※臨時休刊あり
 入場料 無料

次世代に「エール」を

長 沢 美起子

NHK朝の連続ドラマ「エール」が放映されています。思えば56年前に開催された東京オリンピックの入場行進曲が、福島県出身の作曲家・古関裕而だったとは知らず、当時小学校低学年だった私は、「何で大人はこんなものを見るのかな」と思っていました。担任の先生に、「日本で開催されるオリンピックは、あなた方が生きているうちにもう一度見られるかどうかかわからないので、良く見ておきなさい」と言われたのを覚えています。

今思うと、オリンピックが日本で開催されたことは、素晴らしく誇らしいものだったのではないのでしょうか。これこそが、多くの人を感動させた「エール」だったのだと思います。

多くの曲を残し、私達を励まし続けた古関裕而のごとく、私達FJPも、次世代の仲間にも、本当の意味での「エール」を送ることが役割なのではないかと思っ

ています。オリンピックのクマーチのよう



東京オリンピック 1964

各委員会——活動報告

●総務委員会

総務委員長 古川 節子

新型コロナウイルスの感染拡大により、総会ははじめ5・6・7月の例会が中止になったことは、FJP創立以来の出来事でした。この先どうなるのだろうか…という不安もありましたが、総務委員会としては新体制の中、会費の徴収や会員への連絡など、やるべきことを粛々と進めて参りました。そんな中で、昨年の菊地京子さんに続いて伊藤江梨さんのおめでたは、明るいニュースとして皆さんに伝わったことと思います。9月3日に無事男児誕生。おめでとうございます 江梨さん♪



総務委員会メンバー

9月例会の親睦会は、佐賀会員指導の元、会員の結束と度胸で何とかセーフ。皆さんに笑いをお届けできましたでしょうか。総務委員会は、これからも精進して参ります！後期もよろしくお願ひします。

●事業委員会

事業委員長 会田 和子

コロナ禍で思うように会合が開催できない中、事業委員会活動は7月、8月、9月と月1回のペースで開催しました。紺野涼監事がかくし芸の幹事に。杉原会員のお店・グランブーケが練習会場。会場が美しすぎて、紺野アイディアが炸裂。真面目すぎる委員もノリノリに。親密感深まる最高の委員会活動でした。



事業委員会メンバー

●交流・広報委員会

交流・広報委員長 長沢美起子

新体制のもと。委員会活動は7月・8月・9月と3回開催しました。年2回発行の広報紙「うでまくり」の原稿の依頼で各委員と共に奔走し、9月例会におけるかくし芸大会では、いろいろなアクシデントもありました。急きよ懇親会への参加者が少なくなってしまうたのも残念でした。

しかし、当日の参加は出来なくても、練習会場の手配や音源の編集など、委員会同結束できた良い委員会活動ができました。

「うでまくり」の原稿依頼に際しては、快くお引け受けいただいた会員の皆様に感謝いたします。今後とも宜しくお願いいたします。



交流・広報委員会メンバー

■後期活動計画

10/13(火)	先輩経営者に学ぶ① ゲスト会員・佐藤和江 ネーブルシティ本宮a u b u
11/10(火)	キャッシュレス社会に生きる (第2回) 茶寮おりおり(福島市)
12/8(火)	クリスマス例会 ドリーム(二本松)
2021 1/19(火)	先輩経営者に学ぶ② ゲスト・佐藤光代氏 カルチエド・シヤン・ブリアン (いわき市)
2/9(火)	先輩経営者に学ぶ③ ゲスト会員・長沢美起子 須賀川市民交流センター
3/9(火)	各委員会&まとめ例会 宴庭燦(郡山市)

※後期もよろしくお願ひ致します。

編集後記



コロナのお陰で例会も少なく、記事のネタがないと思っていたのですが、FJPの底力で乗り切りました。原稿お寄せいただいた皆様には感謝・感謝です。

今後とも宜しくお願い致します。

(長沢美起子)